

コミュニティ・スクールの取組を進める8つの重点項目の取組状況調査から

本市では、本年度、コミュニティ・スクールの取組を進めるため、8つの重点項目を設定しています。各学校の取組状況を調査し、結果と今後の課題についてまとめました。

1 地域学校協働活動の推進

- (1) 十分なコロナ感染防止対策を講じた上での協働活動の創意工夫と大人の学び、交流の場づくりの促進
- (2) 地域学校協働活動推進員・社会教育推進委員会等との連携・協働
- (3) 児童生徒の地域貢献意識の向上をめざす学習を総合的な学習の時間を核として明確に位置づけた学校・地域連携カリキュラムの充実・実施
- (4) 小中高連携等、幅広い世代での協働活動の推進
- (5) 「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進への理解浸透

2 学校運営協議会の一層の充実

- (1) 幅広い児童生徒の参加・参画による熟議の充実と学校課題解決の推進
- (2) 女性、若手など多様な地域人材の参画による協議会の活性化と継続的な人材育成

3 保護者・地域に届く情報発信の充実

- (1) 直接的・間接的な情報発信の工夫によるコミュニティ・スクールの取組の浸透



- 1(1)** 新型コロナウイルス感染症への対応が変更となり協働活動への制限が緩和されました。ただし、地域からの来校者は微増に留まっています。学校支援や協働活動は大人の学びにもつながることから、今後とも、地域の社会教育の場ともなる学校づくりを進めていきたいと思います。
- 1(2)** 協働の核となる地域学校協働活動推進員や協働活動本部としての社会教育推進委員会の認知度が徐々に向上してきました。今後も、両者を中心に、さらに社会教育の推進拠点となるふれあいセンターと連携した取組を積極的に進めていきたいと思います。
- 1(3)** 本年度は、各校で総合的な学習の時間の計画の見直しを図りました。次年度はその実行の年となります。本市の児童生徒の地域貢献意識にやや低下傾向が見られることから、学校・地域連携カリキュラムに基づいた取組を実行していきたいと思います。
- 1(4)** 高等学校等との連携は、卒業生としての若者を巻き込んだ取組が見られるようになってきました。小中合同学校運営協議会の充実を図るなど小中連携を主軸としながら、より幅広い世代を巻き込む取組を工夫し、学校教育、社会教育の充実を進めていきたいと思います。
- 1(5)** 学校教育の中での協働活動は地域の活性化につながり、地域を愛し、地域貢献意識の高い児童生徒を育てることが教職員の地域貢献であるという認識の浸透を図ってきました。今後は教職員に加え、保護者の当事者意識の高揚も図っていく必要があります。
- 2(1)** 学校運営協議会への児童生徒の多様な参加・参画の取組が展開されてきました。今後は、より一層の充実に向け、熟議に参加するまでの学びや準備の充実、熟議したことの実現に向けた取組に力を入れていきたいと思います。
- 2(2)** 本年度は学校運営協議会委員の改選期を迎え、持続可能で充実した熟議が行われるよう、より多様な地域人材の委嘱が進められました。ただし、委員の女性構成比がまだ低いなどの課題もあります。引き続き、一層の多様化を図っていきたいと思います。
- 3(1)** 新型コロナウイルス感染症への対応の変更により、学校内外での協働活動が活性化し、その姿を直接参観していただく機会も増え、また、学校ホームページによる情報発信も多くの学校で充実してきました。引き続き、直接的・間接的な情報発信に努めていきたいと思います。